

東北の工商時報

行發日五廿 日五月每
行發餘輯 行發餘輯
吉梅越堀 行發餘輯
八三町銀白北平市縣福
社報時工商北東 所行發
六 馨 川 古
圓 一 金行一 料告廣
錢十部一 銀卅金月ヶ一

今日の問題

二 浮足の蔣政權 二

支那軍に總崩れの浮足が立の蔣介石とも見られ英國のつては取りも直さず蔣政權蔣介石とも見られる、關係かに總崩れの吐息を意味し、ら恩恵に似つたある種の力兩者の運命が不可分の關係を加へ來つたことも争はれに置かれて居ることは、今般事實であらうが、肝腎な更多言を要しない、もつと足許から鳥が立つて見るとも、今日の蔣介石は、最早大覆の倒る、一木や二木の支那だけの蔣介石でなく、力で支へ得るものと思へる意味においては、ソ聯くなつた

二 日伊の新協定 二

昨年十一月を以て成立したく成立すべき日伊の防共協日獨防共協定が日本國民と定が表面如何なる形式を採ドイツ國民との間に、温い用するにせよ、それが日獨手と手を握り合ふ橋渡しと協定の延長擴大を意味するなり爾來一年の歳月を闊しは論を俟たないと同時に、て、今では離る、この出日伊協定はこれを兩國親善來ない兩國民間の結帯たるの橋渡しと見るよりも、寧役目を果しつつあるのは、る兩國親善の結實原因でなに喋々するまでもない、近くして結果と見たい

二 平小鐵道めぐつて 二

非常時局にあつて平小鐵道してある皇軍の武人に對し問題をめぐつて血迷つてゐて恥かしいと思はないか。人ありとせば、我等も亦銃後にあつて皇軍戦亂の北支に横暴なる支那の武運長久と必勝を祈る兵と血みどろになつて奮戦やないか。

二 千人針私見 二

千人針をとやく非難するた結果坂本梅吉氏が九點白人もあるが、僕には頭から票三點で散々もみ抜いた結果クダラヌといつて彈壓する氣にはなれぬ彈丸よけになる、ならぬの實効問題やそれを持つ兵士の氣構へ等の問題を云々するのではなくそれを送る女どもの心根に同情するのである、若い女が若い戦士へおくる千人針の贈り物、こそにかもし出されるセンチメンタリズム人間愛さういふ理窟以上のものを許した氣持である。

大麥増産方針

支那事變に伴ふ産業擴充策の中軍馬の飼料たる大麥の供出につき縣は來年度増産方針を決定、本年既に收穫せる大麥を十一月以降明年六月まで準備せしむる

熱と努力の人

坂本梅吉氏

今春以來欠員中であつた双葉郡上岡村々長前村長山田六郎氏と村議坂本梅吉氏との對立競争となり村會を招集すること前後十數回に及び容易に決定を見なかつたが十月廿八日最後の村會を開き、選挙を執行し志の中核となつてゐる。

平市南町 平病院

醫學博士 鈴木定藏
電話六四一番
(元共濟病院跡)

果つひに坂本氏が當選したに最後の具体案を決定する濱三郡業の動向に注目して坂本梅吉氏は仁侠の念に厚管である縣當局ではこの減ある。く曲つた事は断じて嫌ひな船の嵐によつてまき起さる今日も益々大きな期待をかけるに益々大きな期待をかけるられる所である。氏は濱通り三郡の土木建築請負業の逸材として光つてゐる人材である

濱三郡底曳網業者の大革命

濱三郡底曳網業者へ大風一隻を八十隻に減船する事漁業繁殖のためといふ農林で決定、浦業として五百圓省の原案によつて縣では去乃至三百圓轉業、失業者に竹内縣商工課長、中央當局すること、期限は昭和十七から細野技師が臨席、濱三郡と大綱を決定したが當業部當業者代表連が參集協議者は急遽整理組合を組織し會を開いた結果現在百二十昭和三十二年三月卅一日まで

人物素描

關内正氏

關内氏の宣論に於ては熱力平市會議員に在りては忠實があつて福島縣會議員の花に働らいてゐる慾のない人形として政界に活躍し、一格者である、或る議員の如方を寒からしめ、奇策縦横の智を振ひ石城新政友の樞要なる人物である、黨のためには事の細大なく東奔西走も電光石火的活動を爲し唯一の利き役者として同一志の中核となつてゐる。

安井祥治氏

安井祥治氏は温厚篤實な人當つて來た氏は過去數年間にして長塚村の大黒柱の如農村發展に寢食を忘れて努力の途に今日業績を見る一念に心は燃え、眞に至つたのも、一に安井村遊佐氏は理想的經營家として財界通として名聲あり、

銃後の憂なく

玉川村の躍進

村長助役一致協力 村の發展身一段の努力

石城郡玉川村は由來村治に於る人に現助役小泉宗雄氏困難な村として名を馳せてある、氏は變り種の人物居り、其局に當る者をしてとして活躍してゐる宮内村惱からず、頭を悩ましめて長小泉助役一致協力のもと居るが此の難村にあつて能に明期玉川村建設に奮熱努力村を治め自治行政に貢献力時局に際し銃後の護りに裨益する所甚大なるものも村民一致協力經濟の確立にあつた人に現村長宮内久校ある意味に於て本年經濟更氏が有る、氏は温厚なる人生指定村たる故を以て經濟格者として知られ徳望の厚更生に大車輪をかけ村農會から細野技師が臨席、濱三郡と大綱を決定したが當業部當業者代表連が參集協議者は急遽整理組合を組織し會を開いた結果現在百二十昭和三十二年三月卅一日まで川村の發展に奮然努力して愛國婦人會を督勵し出征軍

遊佐丑松氏

遊佐氏の宣論に於ては熱力平市會議員に在りては忠實があつて福島縣會議員の花に働らいてゐる慾のない人形として政界に活躍し、一格者である、或る議員の如方を寒からしめ、奇策縦横の智を振ひ石城新政友の樞要なる人物である、黨のためには事の細大なく東奔西走も電光石火的活動を爲し唯一の利き役者として同一志の中核となつてゐる。



高湯温泉の明光境へは福島から自動車で三十分、日歸りの行樂に適し高湯一周の旅を易とする事が出来る、現に信夫郡高湯温泉は觀光施設に於ては先づ東北唯一とも稱すべく尙同温泉玉子湯温泉は總二階で見晴らしの良し今く山の温泉氣分を深めそれに主人公は自ら人浴客の待遇に當つてゐる客は絶えず來湯日に益して玉子湯温泉は大評判である。

新武運長久 内郷村

由來新聞の目的は社會方面のニュースなれど各町村の風俗人柄など紹介批評するも一興かと思ふその意味に於て紙面の有るべき範圍内に於て茲に紹介する。

東北屈指の經濟的中心地と稱へられてゐる内郷村は日に躍進の一路をたどつてゐる、由來内郷村は炭礦は平市より二三丁玄關が地として全國にその名を知られてゐる、人口三萬弱の二郡一流材木王佐藤三平氏大世帯であり、村當局中の方だ福島縣材木商の成功者心として村民一同を奮勵奮である。

●風が吹いて来た、ほこりが立つ國道を私は佐藤三平氏を訪問した。氏の御屋敷に於て、由來内郷村は炭礦は平市より二三丁玄關が地として全國にその名を知られてゐる、人口三萬弱の二郡一流材木王佐藤三平氏大世帯であり、村當局中の方だ福島縣材木商の成功者心として村民一同を奮勵奮である。

●有名内郷村の村長沼田濱之助氏は村民の信任を一身に集めてゐる沼田氏の好む酒は近頃は品質無敵純良なる高級酒として斯界の大國産にして光榮ある「優等賞」を受け味覺の王洗練されたる、美味近頃として一般大衆より好評を博してゐる、このうまい酒として飲み酒として歓迎されてゐる店主馬目太平氏は内郷村々會議員として愛村發展に活躍してゐる最後馬目太平氏の相談役たる高柳氏に敬意を表して置かねばなるまい。

●山崎庫太郎氏は吾が内郷村信用組合の發展に寝食をなすの優良炭が埋藏されてゐる、圓満な人だ人も知る如く高階一朗氏は典型的努力の人で賣炭の賣上は永年に於て縦横無盡に活動してゐる、日内郷信用組合が押しも押されてゐる。

●玉川村助役の養狸事業目下二十余頭現在の農村は副業時代である田畑と養狸では生活を営むことが困難になつて来たことを鑑みて養狸の玉川村助役の小泉宗雄氏は次の如く語つたやれ農村對策だかやれ更生と何々對策とか唱へる前に農村が生かすべき道と工夫が肝腎である。

●關内藥局最近養狸が全面的に歡迎されて来た私も、昨年二番狸も購入し本年三月十頭の仔狸を獲得し目下二十頭飼育して經濟更生の資料となす方針であると靜かに語られた。

●平の露營の歌
勝つて来るぞと勇ましく誓つて出たからには
手から立てずに死なれうか
進軍ラッパ聴く度に
胸に浮かぶ旗の波
土も草木も火と燃ゆる
果なき廣野踏み分けて
進む日の丸鐵兜
馬の立髪なでながら
明日の命を誰が知る
三
彈丸もタンクも銃剣も
死んで歸れと勵まされ
夢に出て来た父上に
奮闘してゐる。皇軍の必勝
奮闘してゐる。皇軍の必勝
奮闘してゐる。皇軍の必勝

●平の露營の歌
勝つて来るぞと勇ましく誓つて出たからには
手から立てずに死なれうか
進軍ラッパ聴く度に
胸に浮かぶ旗の波
土も草木も火と燃ゆる
果なき廣野踏み分けて
進む日の丸鐵兜
馬の立髪なでながら
明日の命を誰が知る
三
彈丸もタンクも銃剣も
死んで歸れと勵まされ
夢に出て来た父上に
奮闘してゐる。皇軍の必勝
奮闘してゐる。皇軍の必勝
奮闘してゐる。皇軍の必勝

平市堂の前 平電鑄鋼所 金燈籠 銅像 梵鐘 工藤鑄造所 平市七丁目	平市才植小路 武藏鐵工場 電話五一四番	大日本電力株式會社 平營業所 中島正雄	和洋銅鐵 釜屋商店 目丁五市平 番九九話電	公立福島病院 電話一六六、五三八 院長 菅沼清次郎 副院長 中尾秀雄 醫學博士	福島市北町 明治病院 院長 橋英三 電話二二五番	勿來町驛前 山添炭礦 電話十二番	四倉町 額賀醫院 院長 額賀讓	石城郡川前村 請負業 齋藤久義
澤渡村長 佐藤倉造 三坂村 石川松樹 合戸村助役 阿部友睦 合戸村郵便局長 合津音一 川前村長 永山忠二 川前郵便局長 矢内半藏 植田町信用組合長 鷺清昇 雙葉郡大野村長 渡邊清 同助役 小林雄定 小野小學校長 龜田學次 大野村長 伏見清身 瀧根村信用組合長 永山長吉 田村郡夏井郵便局長 根本精 大越村々會議員 大越村井隆義 大越村 武田房壽 高平村長 紺野榮 入遠野村長 上遠野庄九郎 瀧根村長 松永高之助 瀧根村 藤田爲之助 田村郡木炭組合理事 藤田爲之助 大日本電力株式會社 小野新助營業所 田口純平	石城郡川前村 安藤商店 店主 安藤和太郎	須賀川町 商品倉庫株式會社 新山町 半谷醫院 院長 半谷廣男	福島縣桑折町 齋藤商店 齋藤小四郎商店	石川醫院 院長 石川敏	大和田忠良 田村郡小野新町 材木商 高橋龜二郎 同 消防組頭 大和田留之助 同 裁縫女學校 横山巳之七 田村實業銀行	永山德一 丹野才治郎 大和田祐之	服部 甲	警城高等女學校 平商業學校 平祐賢學舎